

美作市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2016年 活動報告



I - 1 看護師等養成専修学校の誘致

美作市スポーツ医療看護専門学校、平成30年4月開校へ

- 平成28年3月 (学)大阪滋慶学園と「専門学校と通信制高校の設置に関する基本協定書」を締結
- 平成28年12月 地鎮祭→校舎建設工事の着工
- 平成29年8月末 校舎完成
- 平成29年9月末より 入学試験実施

□ 美作市スポーツ医療看護専門学校に設置予定の学科・定員

◇看護学科 40名×3年(120名) ◇柔整スポーツトレーナー学科 30名×4年(120名)

◇介護福祉学科 40名×2年(80名) ◇日本語学科 40名×1年(40名) **合計 360名(最大定員数)**

□ 滋慶学園高等学校美作キャンパス (通信制高校)

◇スポーツ及び進学コース 80名×3年=240名 ◇スクーリング(面接授業) 年間約500名



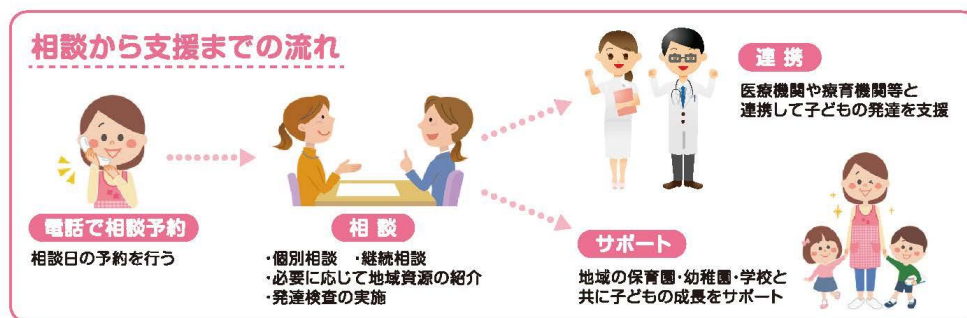
建設工事の様子



I - 2 発達支援センター設立事業

美作市発達支援センターの開設

- 平成28年4月、美作保健センター内(美作市北山)に開設
- センターの職員は臨床心理士、保健師、保育士、元小学校教諭、看護師など
- 教育委員会と協働し、幼稚園・保育園を専門スタッフが月1回巡回相談
- 平成29年3月末現在で、7園・58回で延べ198人
- 相談支援は、相談65件、延べ136回の個別相談、78件のケース会議を実施



(写真と図)
「広報みまさか8月号」より

I-3 「ニートや引きこもり」の自立支援組織の創設

「人おこし事業」への支援

- 平成28年4月、**NPO法人山村エンタープライズ**が、「人おこしシェアハウス」(美作市田殿)を拠点として整備し、「人おこし Hito Refresh Camp」や「人おこし お試しキャンプ」の取り組みを開始。
- 「人おこし事業」とは、人と交わるのが苦手で、学校や社会にうまくなじめていないと思っている人や、生きづらさを抱え、一歩が踏み出せずにいる、そんな若者たちのための田舎合宿型リフレッシュ・プログラム。
- 開始1年間で、体験・見学参加者 106人、入居者 延べ12人(平成29年3月末現在 5人入居中)、就職支援を受けた者は6人となっており、2人が就職、6人がアルバイトを経験するまで回復した。
- 本事業の取組は、第42回地域再生計画として内閣総理大臣の認定を受け、「企業版ふるさと税制」を活用する支援企業が1社(平成29年3月末現在) 平成29年度において、随時支援企業を募集。



Ⅱ-1 レーシング・スクール等の誘致・拡充

NODAレーシングアカデミーの活動支援

➤平成27年5月、NPO法人青少年少女モータースポーツ振興会が、美作市朽木に新たな活動拠点として「NODAレーシングアカデミー」を開校

➤平成29年3月末時点

生徒・職員の転入者数 8人 給食調理員等雇用者数 10人



平成27年6月、石破地方創生大臣視察



平成27年7月、生徒2名がレースデビュー

Ⅱ-2 私立特別支援学校の誘致

日本体育大学との協力関係を深化

- 平成26年12月、「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結(自治体初)
- 平成27年11月、日体大の「集団行動」の合宿を誘致(指導者・学生79人)
- 平成27年12月、日体大市町村サミットにおいて、萩原市長が基調講演
- 平成28年 9月、松浪健四郎氏(日体大理事長)の講演会(聴講者280人)
- 平成28年12月、田中理恵氏(日体大助教、ロンドン五輪出場)による体育指導・トークショー(市内小学6年生対象 約200人)



「集団行動」合宿(美作アリーナ)

Ⅱ-3 都市部の私立高等学校等の学校機能の移転・誘致

学校法人との包括連携協定の締結

- 学校法人美作学園(美作大学、短大、高校、幼稚園)と福祉・栄養・幼児教育分野等における連携協定を締結(平成28年9月21日)
- 学校法人大阪滋慶学園と滋慶学園高等学校美作キャンパス設置の基本協定を締結(平成28年3月26日)



Ⅱ-4 高校魅力化プロジェクト

高校魅力化について対策を練る

- 林野高校は独自に予備校講座を活用した学習支援が行われていることから、他の有効な取組(世界的な情報通信網関係会社Googleとの連携)について、林野高校と協議。
- 「みまさか学」の授業に萩原市長が特別講義を行う。
- 越境入学について、「三県境地域創生会議」(※)として、国(地方創生担当大臣)及び県・県教育委員会(知事、教育長)あてに要望書を提出。(平成27年7月、9月、12月)。美作市市内の大原、東栗倉地区および西栗倉村内在住の生徒は、平成31年4月から兵庫県立佐用高等学校への入学が可能となっており、今後も三県境地域において県境間の人的交流が進むよう取り組み、林野高校の入学者の増加を目指す。



三県境地域創生会議



「みまさか学」の授業風景(山村エンタープライズのHPより)

※三県境地域創生会議

兵庫県(宍粟市、上郡町、佐用町)、鳥取県(智頭町)、岡山県(美作市、西栗倉村)の6市町村の首長で構成。2014(平成26)年12月設立

Ⅱ-5 美作型保幼小中一貫連携教育推進事業

不登校解消に向け、着実に実施

➤小中学校教職員の連携や美作塾との連携により、不登校解消に効果がみられた。

	KPI	H27FY 実績	H28FY 実績
評価指標の期間	平成27年4月～32年3月の合計	平成27年4月～28年3月の合計	平成28年4月～29年3月の合計
不登校児童・生徒等の数の減少	10人	0人	8人
指導主事や講師の雇用者数	3人	1人	2人



Ⅱ-6 保幼小中が連携する英語教育推進事業

平成29年度から体制を整備する

- 平成29年度から、新たにALTを2人採用し体制整備。幼稚園・保育園についても、隔週でカリキュラムに組み込むなど、英語教育の充実を図る。
- 英語検定は、平成29年度秋ごろを目途に実施予定。



英検

後援：文部科学省

Ⅱ-7 本大好き応援事業(本のコンシェルジュ派遣)

読書コンシェルジュグループによる普及活動

- 【平成27年度】大学教授等で結成された読書コンシェルジュグループにより、児童生徒に対し本の読み聞かせや読書への興味づけ、教職員への読書の在り方や読書推進の方法等の指導を行い、読書環境の整備・促進を実施。

・延べ派遣人数 : 46人 ・延べ派遣回数 : 21回

- 【平成28年度】・専門職員の雇用者数 : 1人 ・派遣日数 : 239日

・勝田総合支所に市立図書館を開設(平成28年10月)

・市立図書館司書人数 : 6人

・学校図書館司書人数 : 4人



勝田

【美作市立の6つの図書館】



中央



作東



英田



東栗倉



大原

Ⅱ－８ 自衛隊体育学校誘致事業

一部移転として、女子七人制ラグビーの合宿を実施

- 平成27年8月、政府関係機関の地方移転の提案募集に、防衛省自衛隊体育学校(東京都練馬区)の美作市内移転を応募
- 平成28年3月、「政府関係機関移転基本方針」(まち・ひと・しごと創生本部決定)により、美作市における「自衛隊体育学校の合宿の実施」が明示された。
- 平成28年9月、自衛隊体育学校女子ラグビー一班の合宿実施(9/1～6)。あわせて、自衛隊体育学校を含めた10団体13チームを迎えて、「女子ラグビーセブンズ交流会in美作」(9/3,4)を開催。

動画配信中
(美作市HP)



交流会のロゴマーク(美作市制作)



自衛隊体育学校 UNITED SeALs (紫)



Ⅲ-1-(1) 「儲かる農林業」の推進

作業の省力化支援の実施

	新規黒大豆耕作者	新規就林
平成27年度	3人	1人
平成28年度	4人	0人

➤平成28年度 作付面積 2ha(2%)増加

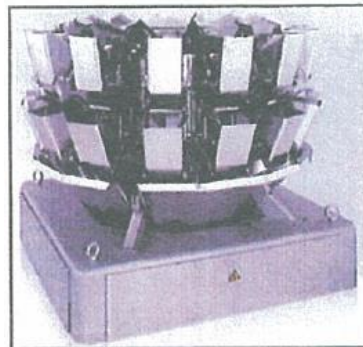
省力化支援の効果
農家の高齢化が進み、作付農家の減少が見られるが、機器の導入によって、省力化が図られたことから、作付面積は増加している。

フルカラーベルトソーター



虫食い・シミ・色合いを
自動で選別する機器

コンピュータスケール



一袋210gになるよう組
み合わせる機器



くろまるくん



えだまるくん



Ⅲ-1-(2) 有害鳥獣を地域資源として活用(ジビエの先進地を目指して)

ジビエを「ふるさと名物」に

- 平成28年度、獣肉処理施設(地美恵の郷みまさか)雇用職員9人
- 販売実績:平成27年度 1,906万円 → 平成28年度 1,747万円
販売目標額 → 平成29年度 1,800万円



東京、大阪での商談会へ参加



新人猟師、狩猟講習会開催



第1回みまさかジビエフェスタ開催
(イノシシの丸焼きを振る舞い)

Ⅲ-2 農作物栄養成分分析事業

高付加価値農作物としてPR

	農作物栄養成分分析調査		直売所等を訪れた観光客数
	調査品目	栄養素	
平成27年度	20種類	23種類	1,250人
平成28年度	16種類	45種類	1,200人

	栄養素	全国標準比
寒締めほうれん草	ビタミンC	229%
小松菜	ビタミンC	203%
日指ごぼう	鉄分	629%
きくらげ(ゆで)	カリウム	351%
うど	食物繊維	167%
ねぎ	カルシウム	157%



「彩菜みまさか」の表示例

Ⅲ-3 新規産業団地の整備と誘致促進

既存産業団地の販売促進

- 作東産業団地の誘致率 H27年度末約85%→H28年度末約99%
- 販売中の団地の動画をWEBでPR(ドローンによる空撮)



作東産業団地(黄色の部分の販売中)



販売中の真加部工業団地、桃山産業団地、宮原産業団地

Ⅲ-4 外国人技能実習生等の受入れ(ベトナム等交流事業)

ダナン大学を核としてベトナムとの関係強化

- 平成27年4月 美作市はダナン大学と相互協力協定を締結(自治体初)
- 平成27年8月 みまさか商工会はTTLC社と事業協定を締結
- 平成28年1月 美作市はダナン大学卒業生を嘱託職員として採用
- 平成28年4月 官民協働組織である美作日越友好協会が設立される
- 平成28年12月 東京オリ・パラにおけるベトナムのホストタウン登録
- 平成29年3月 美作市嘱託職員をダナン大学に日本語教師として派遣
- 平成29年3月 市内企業がみまさか商工会を窓口として、ベトナム人技能実習生を2人採用



ベトナム人技能実習生のみなさん



ダナン大学と相互協力協定



みまさか商工会と技能実習生送り出し機関(TTLC社)の事業協定



美作日越友好協会の発足

(注) 美作市内の外国人国別人口でベトナムが第1位

Ⅲ-5 プレミアム付商品券の共同発行、「元気！すくすく商品券」の発行

約3.6億円の消費喚起効果

- プレミアム付き商品券を勝央町、西栗倉村と共同で発行。対象は美作市民。取扱加盟店は約400店舗(3市町村全体で約580店舗)。1,000円分の商品券12枚で1セットとして10,000円で販売(プレミアム率は20%)。美作市は30,120セットを用意した。→消費喚起効果 360,579,000円
- 元気すくすく商品券を子育て世帯支援として、未就学児一人につき、1,000円分の商品券5枚で1セットとして5,000円分を交付(1,199人分)。取扱いは、みまさか商工会加盟店(市内151店舗)。→消費喚起効果 5,664,000円



プレミアム商品券(見本)



元気！すくすく商品券(見本)

Ⅲ-6 因幡街道三宿ひと往来事業、インバウンド観光の推進

広域インバウンドの推進



- ・因幡街道三宿場内を訪れた観光客数(大原宿のみ)
(H26年度397人→H27年度617人→H28年度248人)
- ・インバウンド観光客の年間宿泊者数
(H26年度4,179人→H27年度7,822人→H28年度6,105人)
- ・外国人向け消費税免税店の数(美作市内) H27年度 新規1件

※因幡街道三宿とは、智頭宿(智頭町)、大原宿(美作市)、平福宿(佐用町)

※27年度と28年度の外国人旅行者の比較を国別にみると、台湾(増加)、香港・韓国(減少)、欧米(増加)



台湾からのスタディーツアーの実施(平成29年2月7～10日)



台湾における三宿場首長トップセールス(H28.7)



海外向け放送コンテンツ
(台湾、タイで放映)

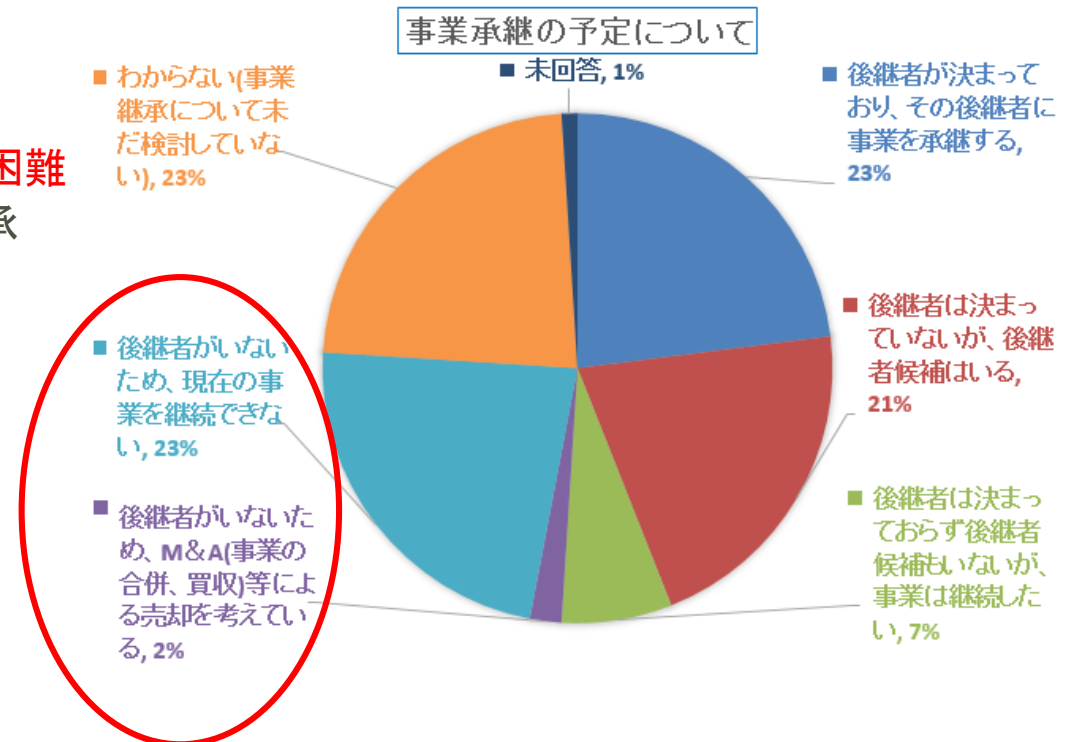
Ⅲ-7-(1) 店舗等経営後継者育成事業

意欲を持った「人財」とのマッチングを目指す

- 地域おこし協力隊
平成28年10月6人を採用

店舗後継

市内の事業所(832社)に
アンケート調査を実施。→1/4が事業継続困難
「人おこしシェアハウス」(P17参照)へ事業承
継についての相談が数件あり



Ⅲ-7-(2) キャリア支援・インターンシップ事業

地元企業と大学就職部の橋渡し

- 平成28年度は市内の企業14社18人と、美作地域の高校6校の就職担当教諭8人との意見交換会を開催

初めての市独自の試み。企業・学校関係者ともに高評価を得た。

- 生徒による職場見学会を実施。(高校4校、生徒約35人)

企業の知名度アップと高校生の地元企業への就職を検討する機会となった。



意見交換会の様子



職場見学の様子

Ⅲ-8 地域活力創生事業

創業・新事業活動への支援強化

	平成27年度	平成28年度	延べ件数
新規創業者等の新規出店の補助件数	3件	4件	7件
経営革新計画等認定事業者数	1件		1件
事業経営の合理化・拡充補助件数		1件	1件
店舗改装等販売促進活動補助件数		10件	10件



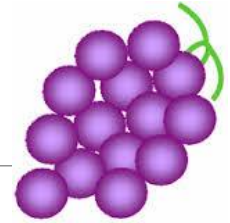
施工前



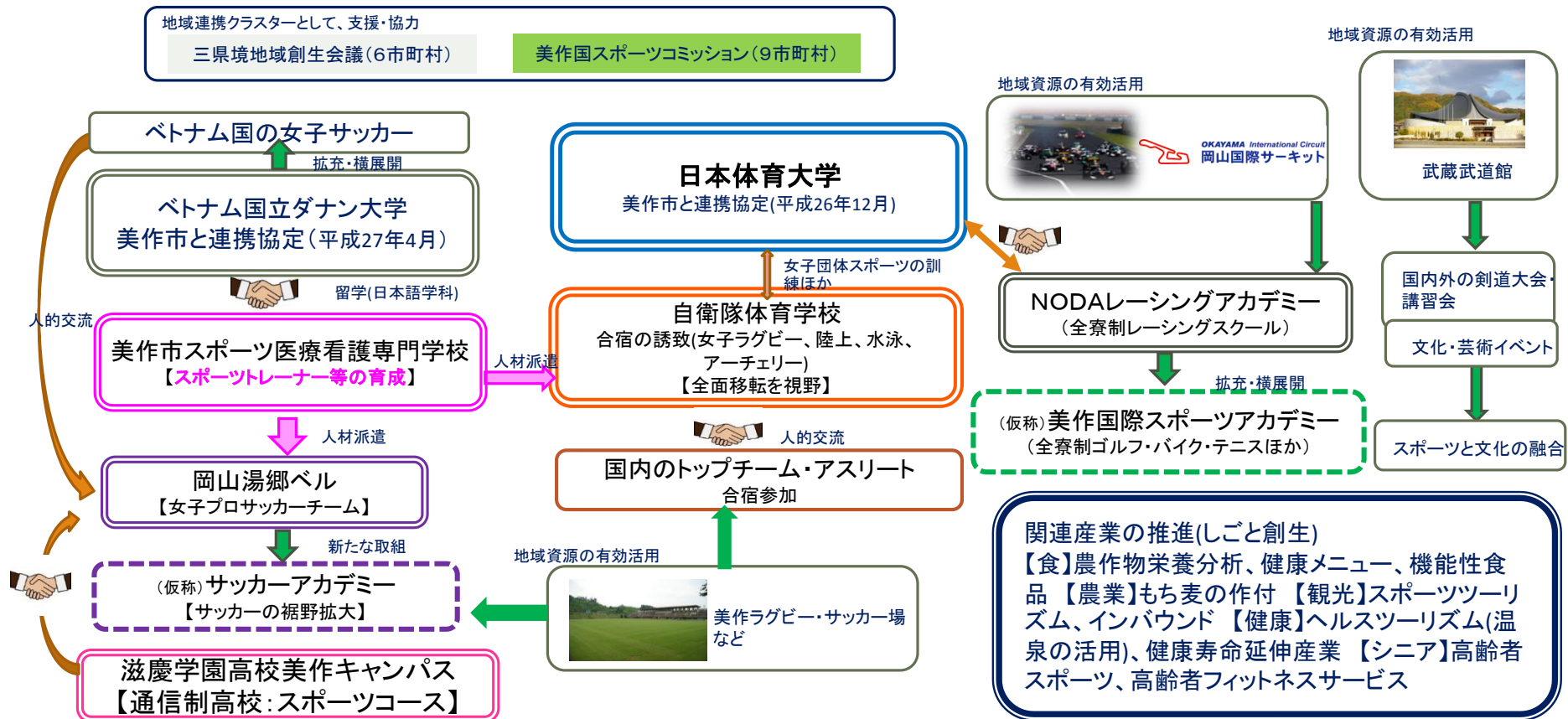
施工後

Ⅲ-9 スポーツ関連産業推進事業

スポーツクラスターの形成促進



スポーツクラスター形成による人づくりと産業振興の好循環創出



Ⅲ-10 健康体操の制作など各種プロモーション

日体大と協定を締結している自治体との協働

- 日本体育大学と体育・スポーツ・健康づくりの分野において協定を締結している自治体は、全国で47ある。(平成29年3月末時点)。
- 美作市が最初に協定を締結した自治体であることから、北は北海道、南は九州まで、賛同する全国11の自治体と広域連携を行い、日体大の「健康体操」の普及に取り組むこととし、国の27年度補正予算の交付金事業にエントリーしたが、落選。
- 平成28年度は、内容を見直して、プロモーション事業を行う。
(28年度の国の支援事業に採択)



Ⅲ-11 ヘルスケア産業(健康寿命延伸産業)の育成

美作市ヘルスケア産業推進調査検討委員会の 立ち上げ

- 美作市ヘルスケア産業推進調査検討委員会による検討開始(平成28年10月26日)
検討テーマ ①健康への気づき、②食事による健康増進、③運動による健康増進、
④地域資源を活かしたヘルスツーリズム
- 平成28年度事業
 - 【委員会の開催】「生涯活躍のまち」を目指し、産学官金等の参画により、委員会3回開催
 - 【市民への啓発活動】 もち麦セミナー(平成29年2月18日)、健康寿命延伸講演会(平成29年3月7日)
 - 【健康セルフチェックの環境づくり】 体組成計、血圧計の整備 【先進地調査】 長野県松本市
 - 【運動による健康増進】 高齢者フィットネス・プログラムの開発(ヨガ)、運動用具の整備



健康寿命延伸講演会



「もち麦のしおり」作成



体組成計を美作アリーナへ設置



Ⅲ-12-(1) 「剣道」と「宮本武蔵ブランド」の融合

欧州トップセールスの実施

➤美作市において開催される全国規模の剣道大会(平成28年度実績)

■文部科学大臣賞争奪 第51回宮本武蔵顕彰小中学生剣道大会(平成28年5月22日)

■文部科学大臣賞争奪 第48回宮本武蔵顕彰高等学校剣道大会(平成28年8月12日)

■総務大臣賞争奪 第15回宮本武蔵顕彰女子剣道大会「お通杯」(平成28年10月22日)

➤イメージ戦略として絵巻作家正子公也氏の武将画展を開催・・・「宮本武蔵」と「お通」の新作を発表

■美作市内 五輪坊(平成28年10月8日～25日、来場者2,226人)

雲海(平成28年12月17日～平成29年1月9日、2,425人)

■ブリュッセル市 在ベルギー日本国大使館 広報文化センター(平成28年12月14～16日、来場者117人)

➤市長による欧州トップセールス 平成28年12月

MIMASAKA DAY (日本ベルギー友好150周年記念事業) 市長のプレゼン (ブリュッセル)

国際剣道・居合道・杖道講習会・第14回国際親善剣道選手権大会におけるプロモーション (ブリュッセル)

CLAIRパリ、JNTOパリ、JETROパリ、旅行会社等におけるシティプロモーション (パリ)

●「剣道=宮本武蔵=美作市」をプロモーション

●剣道体験、合宿(サマーキャンプ等)、剣道大会参加によるインバウンドの推進

在ベルギー日本国大使館にて開催された
武将画展と「MIMASAKA DAY」のポスター



正子公也氏の新作「武蔵」と「お通」



第14回国際親善剣道選手権大会
萩原市長挨拶
(ブリュッセル市
ADEPSスポーツセンター)

Ⅲ-12-(2) 「女子サッカー」と「ベトナム交流」の融合

岡山湯郷ベルとベトナム女子サッカーとの連携促進

- 平成28年7月 市長訪越（文化・スポーツ・観光省との意見交換）
※岡山湯郷Belleのスタッフも同行し、情報収集
- 平成28年12月 ホストタウン第三次登録(相手国ベトナム、主競技は女子サッカー)
- 平成29年3月 岡山湯郷Belle会長が訪越（ベトナム女子サッカー協会との連携強化）
- 平成29年度(予定) ベトナムから女子サッカーチームを招聘し、岡山湯郷Belleとの合同練習・練習試合などを行う予定。



萩原市長と文化・スポーツ・観光省スポーツ局長の会談(平成28年7月)



岡山湯郷Belle



2017（平成29年4月撮影）

IV-1 薪エネルギーの導入促進

薪ストーブの導入促進

- 平成27年度、薪ストーブは新たに15基設置された。CO₂削減効果は、43.7 t・CO₂
- 平成28年度、薪ストーブは新たに5基設置された。CO₂削減効果は、14.6 t・CO₂



薪ストーブ(イメージ図)

IV-2 集落生活圏の維持・課題解決

「小さな拠点」づくりの推進

- 上山地区では、「中山間地域の生活・経済活性化のための多様なモビリティ導入」プロジェクト(上山集落みんなのモビリティプロジェクト)がトヨタ・モビリティ基金の助成(日本で最初)を受けて始動(平成28年1月～)
- 巨勢地区では、総務省の補助金(岡山県下で唯一の採択)を受け、巨勢地区自治振興協議会が中心となってコミュニティの推進に取り組んでいる。(平成28年4月～)
- 美作市は、各地区の創意工夫ある取組を推進するため、新たに「美作市自治創生事業補助金」を予算化(単独事業)し、平成28年8月から公募を開始した。→12事業を採択(応募総数は19件)



(写真提供)英田上山棚田団



IV-3-(1) 移住定住促進に対する補助制度整備事業

多様な手段により、移住定住を促進

- 美作市の単独財源による補助金制度 平成27年度から拡充
→ H27年度 交付実績 39件、11,728千円 (移住定住者 123人)
H28年度 交付実績 68件、24,381千円 (移住定住者 213人) 補助金交付による集計
- 移住定住フェアに参画(首都圏、関西圏)
- 移住定住特設ホームページの開設 → 平成28年3月公開。H29年3月時点で10,521件超のアクセス
- PR動画「まさか、みまさか」シリーズ 6パターン。俳優 梶原 善さんを起用。
→ 平成28年3月公開。H29年3月時点で71,300回を超える再生。



定住支援

美作市にお住まいになるときの支援をご紹介します

➤ 移住定住のための補助金制度

美作市では移住・定住を促進するために補助金を交付しています。

➤ お試し住宅

田舎暮らしのために中古物件等を購入される前に、美作市が整備したお試し住宅で田舎暮らしを体験できます。

➤ 空家バンク

美作市内の空き家情報を提供します。



まさか、みまさか 第四話美作の鹿編

(注) 写真の無断転載禁止

わかりやすく丁寧なホームページ(抜粋)

Ⅳ-3-(2) 若者向け市営住宅の整備

雇用促進住宅の取得へ

- 平成27年度、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構と協議。
- 平成28年度、北山宿舎(60 戸)と勝田宿舎(60 戸)を取得。
- 平成29年1月23日から両宿舎の入居者募集を開始した。
- 平成29年度に美作宿舎(160 戸)の取得を目指す。
- 平成29年3月末時点の入居率は、26. 7%



美作宿舎



北山宿舎



勝田宿舎

平成29年1月23日から入居者募集を開始

IV-4 美しい里山公園の整備

里山公園の整備促進

➤ 里山公園の整備面積 平成28年3月末時点 220 ha

平成29年3月末時点 315 ha (KPI 平成32年3月末 500 ha)



その他

金融機関との連携

美作市と中国銀行、トマト銀行、津山信用金庫は、「地方創生に係る連携と協定に関する包括協定」を締結(平成28年6月)。それぞれが有する知的・人的資源を有効活用し、地域経済の活性化に向けた取組を加速化させる。(県北で初)

➤平成28年度の新規事業

- ・【3機関共通事業】美作市ヘルスケア産業推進調査検討委員会に委員として参画
- ・【各機関との個別連携事業】セミナー・講演会を開催。

